



10月13日 のぶ幼稚園 さつまいも掘り

No. 161 

2016年11月1日発行

議会だより

はが

9月議会定例会

9月定例会概要	2~6
一般質問	7~9
行政視察	10
聲<こえ>私のいいたいこと	11
議会日誌・編集室	12

認定

員に黒崎厚央氏を選任

□芳賀町教育委員会委員の任命について
平成28年9月30日をもって教育委員を退任した森郁夫氏の後任として、黒崎厚央氏（芳志戸）が議員全員



▲黒崎厚央氏

□芳賀町教育委員会教育長の任命について
平成28年9月30日をもって教育長を退任した見目政子氏の後任として、古塚秀一氏（祖母井）が議員全員の同意により選任されました。退任された見目教育長には、3年11月にわたり教育行政にご尽力いただきました。



▲古塚秀一氏

選任同意

第3回芳賀町議会定例会

の要 例 定 概

平成28年第3回芳賀町議会定例会が9月2日から16日までの15日間の会期で開催されました。
第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受けました。また、監査委員から決算審査の報告を受けました。一般質問は、第5日目に行われ、2人の議員が町政について質問しました。第6日目に平成27年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。第7日目に平成27年度決算についての質疑を行った後、決算審査を各常任委員会に付託し、第13日目まで審査を行いました。
最終日に平成27年度決算を原案どおり認定し、追加議案として提出された同意案件についても採決し、閉会しました。

平成28年第3回芳賀町議会定例会提出議案

報告

の同意により選任されました。退任された森前教育委員には、7年11月にわたり教育行政にご尽力いただきました。

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について

両法人の経営状況を説明するため、平成27年度の事業実績及び決算を報告するもの。

【質疑】 水沼孝夫議員、小林一男議員

□平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、

監査委員の意見を付して報告するもの。

するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

条例

□芳賀町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

本条例で定める「法に定めのない個人番号を利用できる事務」に、新たに子どものための教育・保育に関する利用者負担額の減免・免除に関する事務を追加するため、条例の一部を改正

路線廃止・認定

□芳賀町道路線の廃止について
□芳賀町道路線の認定について

主要地方道真岡・那須烏山線のバイパス整備に伴う管理移管により、路線の起点を変更するため、いったん廃止し、改めて町道として認定するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)



平成27年度決算を

教育長に古塚秀一氏、教育委

補正予算

□平成28年度芳賀町一般会計補正予算(第2号)

総額に3528万7千円を追加し、予算総額を77億9103万6千円とするもの。

〔質疑〕北條勲議員、小林隆志議員、杉田貞一郎議員、小林一男議員

(討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額に664万9千円を追加し、予算総額を22億264万9千円とするもの。

〔質疑〕水沼孝夫議員

(討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額に543万3千円を追加し、予算総額を1億9173万3千円とするもの。

〔質疑〕石川保議員、大島浩議員

(討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第1号)

保険事業勘定の総額に2

062万1千円を追加し、予算総額を13億4832万1千円とするもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

認定

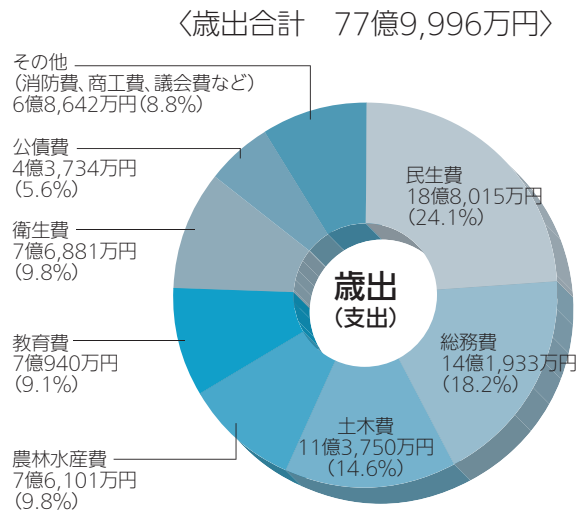
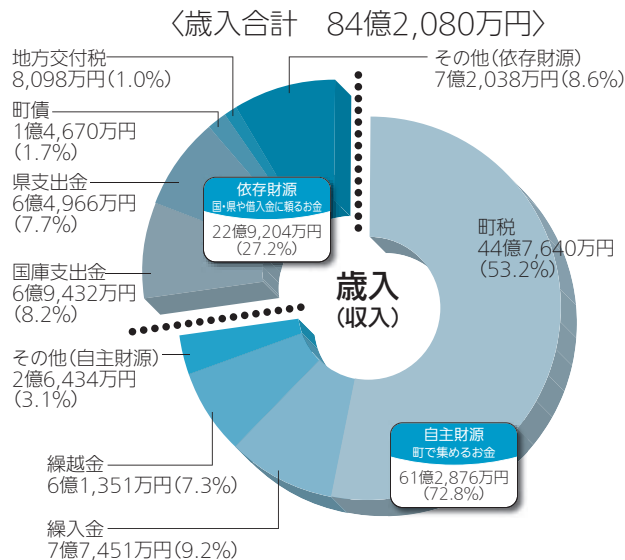
□平成27年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計、芳賀工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町祖母井南部土地地区画整理事業特別会計、芳賀町宅地造成事業特別会計及び芳賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度は、第5次芳賀町振興計画後期計画の最終年度でした。町では「人口減少の克服」を最重点課題とし、「学校教育の充実」「健康づくりの推進」「高齢者福祉の充実」「計画的な町づくりの推進」「防災・消防機能の向上」「農業の振興」「LRTの整備推進」の7つの施策を優先的に推進しました。

平成27年度各会計決算の状況

会計別	歳入	歳出	
一般会計	84億2,080万2千円	77億9,995万5千円	
国民健康保険特別会計	24億6,916万8千円	22億8,536万0千円	
農業集落排水事業特別会計	1億7,301万7千円	1億6,723万3千円	
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	1億4,474万3千円	1億4,232万6千円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	13億446万8千円	12億6,617万2千円
	介護サービス事業勘定	1,223万5千円	818万2千円
公共下水道事業特別会計	2億6,848万5千円	2億5,644万9千円	
祖母井南部土地地区画整理事業特別会計	9,428万7千円	8,986万1千円	
宅地造成事業特別会計	4,044万9千円	3,933万4千円	
後期高齢者医療特別会計	1億3,394万4千円	1億2,875万9千円	
計	130億6,159万8千円	121億8,363万1千円	

一般会計決算の状況



自主財源:72.8% 依存財源27.2%

平成27年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)



項目	金額	町民一人あたり※
町債残高	27億8,441万5千円	約17万5千円
基金残高	24億7,824万2千円	約15万6千円

※平成28年3月31日の人口15,897人で算出。
千円未満は四捨五入。

人口減少対策の主な事業

<p>定住促進事業 住宅取得・家賃補助事業 決算額：1,562万円</p> 	<p>子育て支援事業 妊娠出産支援(出産祝金) 決算額：820万円</p> 	<p>子育て支援事業 子ども医療費助成拡大 決算額：5,975万円</p> 
<p>子育て支援事業 チャイルドシート購入補助 決算額：33万5千円</p> 	<p>子育て支援事業 学校給食補助 決算額：2,617万円</p> 	<p>子育て支援事業 奨学金返還免除 決算額：186万円</p> 

監査委員意見

最小の経費で最大の効果を

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業など歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されてきました。また、第5次芳賀町振興計画後期計画の最終年度である平成27年度の重点施策についても概ね計画どおり良好に執行されてきました。

本町の平成27年度単年度財政力指数は1・072、健全化判断比率は、実質公債費比率4・2%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は72・8%です。

財政の根幹をなす町税については、昨年度より6・4%減の約44億7640万円の収納となりました。減収分の財源は財政調整基金の取り崩しにより対応していますが、少子高齢化による人口減少社会の進展により、財源確保が厳しい状況が予想されますので、事務事業の見直しをするなど、今後とも効率的で堅実な財政運営をお願いいたします。

借金である本町の地方債の残高は、一般会計と3つの特別会計で、約57億2698万円で、年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、後世への負担軽減をお願いします。

平成27年度の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思えます。平成26年度に引き続き平成27年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、財政的に余裕があるわけではないことを認識し、新たな財源確保の施策を講じるなど歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるようお願いいたします。



▲小林俊夫監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

平成27年度 決算の 主な質疑



問 業務系ネットワーク事業の決算額が前年度に對して1億5千万増えた理由を伺う。

答 企画課長 業務系システムの切り替えに伴うデータの移行作業や新システム構築、システムの強化などを行ったためです。



問 職員の時間外手当が年々増加し続けている理由を伺う。

答 総務企画部長 町の新規事業や地方分権などにより、各課の業務量が増えていますが、職員数は年々減少しています。職員に対しては仕事を時間内に

終わらせる自覚を持つよう徹底するとともに、時間外勤務については適切に管理をしていきたいと思えます。



問 ごみ減量化への取り組みが後退しているのではないかと。

答 環境対策課長 生ごみの減量化については、幅広く有機質資材の補助をしていきます。ごみの減量化に今後とも推進していきます。



問 法人町民税が約1億円減収となった理由について伺う。

答 税務課長 法人税率が14・7%から12・1%になったこと、高額納税事業所の税額が大きく落ち込んだためです。



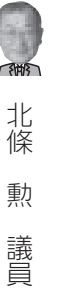
問 一人あたりの医療費が増加し、健康づくり事業による医療費削減に結びついていない状況について見解を伺う。

答 健康福祉課長 高齢者の数が年々増加しているため、医療費も増加しています。健康づくり事業の目的である医療費削減の効果があがるまでにはなっていませんが、病気の早期発見や、体力の低下を抑制する効果は上がってきていると思います。



問 経常収支比率が平成26年度の80・6%から4.4ポイント上昇し85%となった理由を伺う。

答 企画課長 収入が約3億円減収になったことと、支出の部分で人口減少対策の補助金等の経費がかさんだことで結果的に経常収支比率が上昇しました。



問 「広報紙はが」は新聞折込で配布しているが、希望者約300人には郵送で配布しているとのこと。希望者は、新聞を購読していない家庭なのか伺う。

答 企画課長 希望者約300人の内訳は、芳賀町に関わりのある個人や新聞社、行政機関、町内の方などです。町内で、新聞折込で広報紙が届かない方には、連絡をいただいた上で対応しています。



問 監査委員の決算審査意見書の中に収入を増やす、コストを考えるということが述べられていたが、町長の考えを伺う。

答 町長 芳賀町は工業団地からの税収が非常に多くなっています。北関東道からのアクセス等も良くなりましたので、工業団地の拡張を推進していきたいと思えます。



問 一般会計から特別会計へ約8億6百万が繰り出されている理由を伺う。

答 企画課長 制度的に一般会計から繰り出すことが決まっている介護保険の事業勘定や国民健康保険の政策的な考えで繰り出している農業集落排水事業、公共下水道事業、宅地造成事業等があるためです。



問 定住促進事業の家賃補助の実績が2件で7万円だった。この2件の方は現在も居住しているのか、また今後の実績を上げるための対応は。

答 建設産業部長 2件の方は、現在も居住しています。今後も機会を捉えて、定住をしていただくためのPRを続けていきます。



常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月8日から14日まで、平成27年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、9月16日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

総務常任委員会

□書類審査（9月12日、13日）

総務課、企画課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

□現地調査（9月14日）

情報の森、両郡橋、宮田橋、監物橋、会計課

□審査の意見または特に留意すべき事項

基幹システムの変更に伴い、多額の費用と労力を要した。今後、役場の業務システムはますます高度化し、マイナンバー制度導入などにより、セキュリティ対策も大幅な強化が必要となっている。それに対応できる職員を今後どう育成・確保すべきか、機構改革も含めて早急に検討するとともに、コストについても十分な協議を行い、経費削減に努められたい。



▲審査の様子



▲現地調査（情報の森）

教育民生常任委員会

□書類審査（9月8日、9日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月14日）

水橋運動場、海洋センター、祖母井保育園、芳賀東小、町民会館

□審査の意見または特に留意すべき事項

①教育民生常任委員会所管の施設については、建築後かなりの年数が経過し、一部の施設は老朽化も顕在化していることから、すべての施設の総合管理計画を策定し、長期的視点で更新・統廃合・長寿命化などを推進されたい。

②教育の情報化は社会変化への対応の観点から最重要課題となっている。児童・生徒へのさらなる情報端末の整備及びICT支援員の配置など、情報通信技術の環境と指導体制の充実を図られたい。



▲審査の様子



▲現地調査（水橋運動場）

産業建設常任委員会

□書類審査（9月9日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月14日）

ロマンの湯、上延生地内ハウス雪害復旧、かしの森公園、東水沼地内、西高橋地内、モテナス芳賀

□審査の意見または特に留意すべき事項

①本町の農業行政は従来どおりの補助金頼みでは、これまでと何も変わらない。高齢化や担い手不足が深刻化しており、地域の衰退に拍車を掛けている。生産性や収益性の向上を図ると共に稼げる農業を目指し、複合化やICTの活用をするなどして具体性のある将来ビジョンを示す必要がある。町の農業をどうしていくかという根幹部分について、多くの関係者と議論を尽くされたい。

②祖母井の中心市街地活性化にあたっては、街区の整備・店舗集団化などのハード事業の取り組みだけでは、商店街活性化事業に失敗している例が多々ある。経営の近代化は、ハード事業とソフト事業が効果的に発揮されて初めて為し得る。商店などの業者はプロだからという個人任せの経営によるソフト事業と、行政によるハード事業のミスマッチが問題である。経営の内と外からの支援、町づくりと共に店づくりの充実や経営相談などの充実を図られたい。

また、商業集積地モテナスは10周年を迎えるにあたり、テナントに空きが目立つ現状がある。については、賃料などについても見直しを求められているので検討されたい。



▲審査の様子



▲現地調査（東水沼）

ここが聞きたい 2人の議員が一般質問

一般
質問

第5日目に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問しました。



北條 勲 議員 (8ページ)

- ① 選挙の投票時間について
- ② 町の情報発信について



水沼 孝夫 議員 (9ページ)

- ① ふるさと納税に対する取り組みについて
- ② 第6次芳賀町振興計画における
商業振興・農業振興について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は12月1日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から



北條 勲 議員

選挙の投票時間について

問 経費削減・立会人の負担軽減などの理由により、投票終了時間の繰り上げを44都道府県が実施しています。次のことを伺う。

①期日前投票が浸透していることから、栃木県知事選挙から投票所の開閉時間の繰り上げはできないか。
②投票立会人は、拘束時間が長いので2人または3人の交替ソフト制にできないか。

答 選挙管理委員会委員長 1点目の投票時間の変更は、他市町の動向を見極めながら慎重に検討します。2点目の投票立会人は、当

面は引き続き1日単位で対応します。立会人制度のより良い運用について今後も検討します。

問 検討という答弁ですが、いつごろ会議を開くのか。

答 選挙管理委員会書記長 本年11月に栃木県知事選挙が予定されていますので、準備作業で会議を開催する機会がありますので併せて検討します。

問 茨城県笠間市選挙管理委員会では、若い人が実際の選挙を体験することで、選挙を身近に感じて

らえるよう、選挙人名簿に登録されている高校生を立会人に起用しました。1日の前半を高校生が担当し、後半は一般の方です。日額報酬も半分です。より多くの方が選挙にかかわり、政治にも関心を高めることになりそうです。このような優良事例がありますが、選挙管理委員会の考えを伺う。

答 選挙管理委員会書記長 仮に半日単位の交代制を導入するとした場合には、柔軟性をもった対応を考えます。

で、選挙を身近に感じて

町の情報発信について

問 魅力度ランキングで、北関東3県が仲良く下位に低迷しているのはPRが下手だからと言われていてます。当町も同様と思っております。次のことを伺う。

①光の道の加入率をどのように上げるのか。
②移住・交流推進機構の調査に回答しなかった理由と今後の対応は。

加入手続きを進めているところでは。

問 機構の年会費は、県が30万円を負担し町は無料です。機構は無料で全国に情報を発信しています。費用対効果も含め積極的に町の情報発信するよう指示すべきと思うが町長の考えを伺う。

答 町長 1点目の光の道事業については、事業開始直前に民間事業者がインターネットサービスを開始したため、加入率が伸び悩んでいます。本町では、光ケーブルが引かれているので、アンテナを設置しなくてもテレビに接続するのみで視聴が可能です。4年後の東京オリンピックまで新たな加入が見込めると期待しています。

答 町長 どうしたら芳賀町の良さを他市町村にわかっていただけるか、各課で調査研究をしています。

2点目の移住・交流推進機構の調査については、本町は機構に加入していないため、調査の対象になりませんでした。現在、機構に



水沼 孝夫 議員

一般質問

ふるさと納税に対する取り組みについて

問 芳賀町の県内順位は21位の60件、231万円でした。1位は大田原市の2億5965万円、全国町村トップは鹿児島県大崎町27億2千万円と膨大な金額でした。こうした状況に町の取り組みが果たしてこれで良いのか、地方創生に向けて本年度税制改正で、企業版ふるさと納税が創設されたが、これらの活用も併せて伺う。

答 町長 PR不足と返礼品の種類も少ない状況にあります。制度本来の趣旨を尊重し町の魅力を発信し続けることで選ばれる自

治体になるよう改善に取り組みます。また、企業版ふるさと納税は5月に審査を受けましたが既に策定されている地域再生計画ではなかったことと財政力指数が高いいことなどから事業認可に至りませんでした。今後事業認可に向けて取り組みを進めます。

問 民間のふるさと納税サイトを利用して納税しやすくしたり、遊休農地を利用した市民農園の利用権とロマンの湯の利用券をセットにした返礼品とか、農産品だけではなく地元の

産品の振興につながる複合的な商品開発をして新たな財源確保をお願いしたい。

答 町長 農業・商業振興の観点から輸出など米の強化とかわゆる絡めて、ふるさと納税に使えるものは積極的に拡大する取り組みをしていきます。

問 商業振興 祖母井商店街もシャッターの閉じた店舗や廃業を考えている業者も散見され、モテナスも2区画が空き、もう1区画も撤退が予定されている。町長公約のにぎわいの創出の考えを伺う。

答 建設産業部長 祖母井神社南側については100%同意事業という事で区域の皆さんと内容の検討を進めています。県の認可の後、31年度以降に着工できるようにしたいと考えています。

第6次芳賀町振興計画における商業振興・農業振興について

2015年度のふるさと納税寄付受け付け入れ額を基にした県内市町村収支目安

	ふるさと納税収支目安 (万円)	ふるさと納税募集・返戻などの費用 (万円)
大田原市	24,837	8,027
那須町	15,702	8,009
那須塩原市	11,448	5,931
壬生町	7,501	4,174
小山町	7,149	5,858
栃木市	5,980	4,433
矢板市	5,084	3,480
茂木町	3,794	2,259
那珂川町	3,744	1,885
益子町	3,675	1,825
真岡市	1,400	1,190
佐野市	482	0
日光市	424	368
さくら市	100	35
芳賀町	48	32
市貝町	8	17
塩谷町	-39	12
那須烏山市	-153	17
鹿沼市	-240	454
高根沢町	-355	319
野木町	-525	11
上三川町	-550	21
足利市	-2,676	11
下野市	-3,747	3
宇都宮市	-16,881	1,654
県計	33,972	50,038

※収支目安は、2015年度寄付受け入れ額から16年度に失う個人住民税(市町は市町民税のみ)を差し引いた額。県計は県の受け入れ額を加算。千円以下を四捨五入

致店舗の検討をしていきます。略を伺う。

問 農業振興 米価の下落、2年後の生産調整の見直し、高齢化と後継者不足、TPP等々難問が山積している。国の農政改革のポイン

トは、戸別所得補償廃止で浮いた補助金で、エサ米(飼料用米)に転作奨励し、同様の所得を得るもので、中でも芳賀町は転換率が高いが、この補助金もいつまで続くかわからない。そこで、町としてどのくらいの規模で農地集約を考えているのか、採算ベースなど、今後の具体的農業振興の戦

答 町長 町では既に農地集積が60%近くに達しています。目標経営規模を20ha、これらの大規模経営体数を平成31年度に35経営体にして行きたいと考えています。農業経営に関しては、ご指摘のとおり国の政策に依存するところが多くなっています。町、農業協同組合、生産者が一体となった農業振興が必要です。自然災害から国土を保全する機能を担う水田を維持し、所得向上を図ることが重要であり、重点事業として強力に推進して行きます。

商工観光課長 モテナスについては指摘を踏まえて商工会や芳工連と協議し、集客の方法、ターゲットや誘

客の方法、ターゲットや誘

行政視察来町

8月から10月にかけて県外の4つの議会が視察のため芳賀町に来町しました。

宮城県利府町議会

8月3日、宮城県利府町議会総務財務常任委員会がデマンド交通の視察のため来町しました。担当職員から事業の説明を受けた後、モテナス芳賀のオペレーションセンターを視察しました。利府町議会議員からはデマンド交通導入に向け、熱心な質問がなされました。芳賀町議会からは増淵議長、水沼産業建設常任委員長、石川副委員長が出席しました。



▲視察の様子

岩手県岩泉町議会

8月25日、岩手県岩泉町議会総務常任委員会が町民満足度調査とデマンド交通の視察のため来町しました。町民満足度調査を実施している自治体は全国的にみても少ないということで、岩泉町議会議員からは調査の方法や調査内容など、細部にわたる質問がありました。芳賀町議会からは増淵議長、小林一男総



▲利府町議会の皆さん

務常任委員長、岡田副委員長が出席しました。



▲視察の様子



▲岩泉町議会の皆さん

埼玉県伊奈町議会

10月18日、埼玉県伊奈町議会の3会派7人が総合情報館、芳賀チャンネル、議会運営の視察のため来町しました。担当職員からの説明を受けた後、総合情

報館の内部を熱心に見学しました。芳賀町議会からは増淵議長、小林信二議会運営委員長が出席し、議会運営に関する意見交換も行いました。



▲視察の様子



▲伊奈町議会の皆さん

山形県高島町議会

10月19日、山形県高島町議会議会運営委員会が芳賀町の財政

と議会運営視察のため来町しました。高島町議会議員からは芳賀町の財政や工業団地、農業、定住促進、公共交通など多岐にわたる質問がありました。芳賀町議会からは増淵議長、小林信二議会運営委員長、小林隆志副委員長が出席しました。



▲視察の様子



▲高島町議会の皆さん



交通事故の無い町、芳賀町に



熊谷 武男さん
(与能)

私は、芳賀町に在住して40年になります。私の在住する与能地区には、武道館・芳賀海洋センター・芳賀中学校があります。

近年、芳賀バイパスが開通し道路事情も良くなり、通行する車両も増加している中、芳賀中学校の南方の通学路は道幅も狭く、通学時には自転車と車両とのすれちがいに、危険を感じる所があります。特に冬季は、積雪時、自転車の通行が大変な所が見受けられます。

除雪されないと凍結時の自転車通行はかなり危険です。通学する生徒の安全の確保のため、道幅の狭い道路は早急に整備を進めてほしいと思います。

また、積雪時は除雪し、交通事故のないよう、町にお願いします。

子どもの視野を広げる環境づくりを



大萱 京子さん
(八ッ木)

先日掲載された新聞記事に私は愕然としました。それは『栃木県 小6算数全国最下位』というものです。私の息子も今年小学6年生で、このテストを受けていたために、この結果は本当に情けないと感じました。

芳賀町では、早い時期から補助教員がついて授業を行っていたり、外国語の授業を低学年のうちから取り入れたり、さまざまな取り組みをしてくださっていますが、この結果を見る限り、さらに学力を向上させる取り組みをするべきなのではないかと思います。

しかし、子どもたちに必要なのは学力だけではありません。スポーツや芸術、自然など多くの事に興味を持ち、視野を広げることが大切です。そのためには、家庭や学校、町全体の環境がどうあるべきかを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

お年寄りに優しい町を



備前 英一さん
(西高橋)

広報はが9月号に、長寿の皆さんが掲載されていました。驚いたのは、100歳以上の方が8名いることです。皆さん元気で本当にすばらしいことと思います。平均寿命を見ると、栃木県は男性が38位、女性は46位で、短命県と言われているそうです。

「核家族」という言葉が出来てから、かなりたちました。当時は、それほど気にしない言葉でしたが、わが町でも確実に増えてきているように思います。万一、妻が病気になってもなったら、家事をしたことのない男性が困るのは食生活ではないでしょうか。県北の財政的にも大変厳しいある町では、1人暮らしのお年寄りに、見守り・安否確認をかねて、希望すれば週6日、1日1食わずか300円で弁当を提供しているとのこと、他所で暮らしている家族は、大変喜び安心しているそうです。

財政的にも非常に恵まれているわが町ですから、お年寄りが安心して暮らせるような取り組みを更に推し進めていただけたらと思います。

議会日誌

8月

- 2日・市町村トップセミナー
- 3日・宮城県利府町議会行政視察来町
- 6日・ロマン花火2016
- 8日・とちぎの道現場検証
 - ・県土整備委員会現地調査
- 19日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査
- 25日・岩手県岩泉町議会行政視察来町
- 26日・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会

9月

- 1日・芳賀郡市町議会議長会定例会
 - ・芳賀広域行政事務組會議会定例会
- 2日・第3回芳賀町議会定例会（～16日）
 - ・議会広報常任委員会
- 3日・芳賀中学校体育祭
- 11日・芳賀郡市民体育祭
- 16日・議員全員協議会
- 17日・小学校運動会
- 18日・道の駅はが 梨祭り・新米祭り
- 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査
- 27日・教育民生常任委員会行政視察（～28日 秋田県東成瀬村）
 - ・都市・農村共生社会シンポジウム in 栃木
- 28日・芳賀中部上水道企業団定例会
 - ・芳賀郡中部環境衛生事務組合定例会

10月

- 4日・戦没者追悼式
 - ・教育民生常任委員会
- 11日・芳賀郡市正副議長研修（～13日 北海道三笠市、青森県五所川原市）
- 15日・道の駅ましこ完成式典
 - ・地域安全運動真岡地区大会
- 16日・故福田武隼氏を偲ぶ会
- 17日・産業建設常任委員会行政視察（～18日 神奈川県開成町、東京都八王子市）
- 18日・老人クラブスポーツ大会
 - ・埼玉県伊奈町議会行政視察来町
- 19日・山形県高島町議会行政視察来町
- 20日・芳賀中部上水道企業団例月現金出納検査
- 21日・議会広報常任委員会
 - ・例月現金出納検査
- 22日・生涯学習講演会
- 24日・総務常任委員会行政視察（～25日 神奈川県山北町）
 - ・議会広報常任委員会
- 28日・県議長会・研修会

議会だよりの表紙写真を募集!

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなれるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集します。

テーマ 「元気な芳賀町」
(人物・風景等は問いません)

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント（L版以上）またはデジタルデータのA4型
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合があります。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得てください。
- ・住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。

応募締切 平成29年1月13日(金)



応募先

芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を呈呈します。

次号は2月発行予定です。

編集室

リオデジャネイロで開催されたオリンピック・パラリンピック。日本勢は史上最多となるメダルを獲得。栃木県出身の選手も大活躍しました。また、全国高校野球選手権大会は作新学院が54年ぶり2度目の優勝を果たすなど、私たちに大きな感動を与えてくれました。

役場の業務も第3四半期に入り、LRT事業、芳賀高校跡地の宅地造成、祖母井の区画整理、公共下水道、工業団地拡張など大型事業が本格始動しました。

4年後には東京でオリンピックが開催されます。芳賀町もさらに躍進し、夢と希望に満ちた町づくりをしなければと思いつながら、ペン握っている今日この頃です。編集室では皆さんに親しまれる「議会だより」を目指しています。ご意見をお寄せ下さい。
(議会広報常任委員長 大根田周平)

議会広報常任委員会

委員長	大根田周平
副委員長	大根田 弘
委員	岡田 年弘
委員	増渕さつき
委員	杉田貞一郎